

国際シンポジウム「アジアにおける女性のリーダーシップの推進」を開催

博士課程教育リーディングプログラム『「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育成プログラム』は、大学院国際開発研究科と共催で、5月19日（火）、名古屋大学国際シンポジウム「アジアにおける女性のリーダーシップの推進」を開催しました。この国際シンポジウムは、UN Women により、HeForShe キャンペーンのパイロット事業「Impact 10x10x10」において、松尾清一総長が女性の活躍を推進している世界10大学学長の一人として選出されたことを受け、本学における HeForShe イベントとして開催しました。近隣の大学・高校や東京・徳島など遠方からの参加者も含め、約170名の参加があり大盛況でした。

松尾総長による歓迎の辞、松坂浩史文部科学省大臣官房文部科学広報官及び松川るい外務省総合外交政策局女性参画推進室長による来賓挨拶、東村博子副理事による主催者挨拶、岡田亜弥副理事による趣旨説明に続き、イザベル・ゲレロ元世界銀行副総裁による“Investing in Women’s Leadership is Preparing for Future”と題する基調講演が行われました。続くパネルディスカッションでは、高井次郎教育発達科学研究科教授の司会のもと、ゴウリ・イシュワラングローバル教育・リーダーシップ財団理事長（インド）、内藤由治セレンディップ・コンサルティング名誉顧問・元ポッカ会長、トリ・ムンプニエエネルギー・海洋資源省大臣シニアアドバイザー・NGO IBEKA 代表（インドネシア）、柳沢香枝国際協力機構（JICA）理事をパネリストとして、女性のリーダーシップの推進に向けた課題と方策について発表と討論が行われました。続く質疑応答では HeForShe イベントに相応しく男性からの質問も多く出され、パネリストを交えて白熱した議論が行われました。



イザベル・ゲレロ氏による基調講演



パネル・ディスカッションの様子